



令和6年能登半島地震、羽田航空機事故

一日も早い平穏が取り戻せますように・・・

新年を迎えた元日、能登半島を中心に北陸地方に大地震・津波が発生し、大きな被害がありました。翌2日には、被災地に支援物資を届けるための海上保安庁の飛行機と旅客機が衝突し、大きな事故になりました。被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたします。

全国高校サッカー参加校の心温まる行動

2日に行われた全国高校サッカー選手権3回戦には、能登半島地震で被害を受けた石川県の星陵高校のチームが登場しました。地震の影響で地元からの応援団を派遣できないなど非常事態の中、対戦相手の千葉県の市立船橋高校は、保護者の協力もあって野球部の部室からメガホンを調達し、支援を名乗り出た女子バスケット部の分も含め、合計350本のメガホンを星陵サイドに貸し出しました。さらに「共にがんばろう石川!」「被災者の皆さまに一日でも早く日常が戻りますように 市船」などのメッセージを記した横断幕も準備し、この日のスタンドに掲げました。また、2回戦で敗退していた神奈川県の日大藤沢高校サッカー部員らが星陵高校の応援に駆け付けました。部員らは星陵高校のイメージカラーである黄色のビニール袋を頭からかぶり応援し、スタンドには「がんばれ!日本の絆 今こそ強く」「最高の場所へ 俺たちは共に」と書かれた横断幕が掲げられました。高校生たちの心温まる行動に目頭が熱くなりました。

3学期は画竜点睛 しっかりまとめを!

昔、張という名前の画家が、仕えていた武帝から「安楽寺の壁に竜を描くように」と命じられます。完成した竜の絵は大変すばらしい出来栄でしたが、張はなかなか目を描き入れようとしません。ある人が理由を尋ねると彼はこう答えます。「瞳を描くと私の竜が飛び去ってしまう」。しかしその言葉を信じない人々が瞳を描いてほしいと懇願し、とうとう張が目を描いたとたん、たちまち竜は動き出して天に昇って行ってしまいました。

「画竜点睛」はこの故事が由来となり、「最後に加える肝心な仕上げ」を指す言葉となりました。

3学期は、令和5年度のまとめです。まさに「画竜点睛」です。学校は、子どもたちのより良い成長のために「画竜点睛を欠く(物事をりっぱに完成させるための、最後の仕上げを忘れる)」ことがないように尽力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、変わらずのご支援・ご協力をお願いいたします。

今年の干支は
辰



張僧繇、吳中人也。武帝崇飾
仏寺、多命僧繇画之。金陵安
楽寺四白龍(竜)、不點(点)
眼睛。每云、點睛即飛去。人
以爲妄誕、固請點之。須臾雷
電破壁、兩龍乘雲、騰去上天。
二龍未點眼者見在。